

国土交通省ホットラインステーションに寄せられた

一般利用者（ベビーカー利用者以外）の意見

- * 固有名詞等、一部削除している意見もあります。
見出しは、国土交通省が作成しています。

I ベビーカー利用者の公共交通機関利用に否定的な意見

① ベビーカー利用者のマナーを向上させることが先決

鉄道やバスなどでベビーカー利用者の優先スペースを示す全国統一マークを創設するとのことですが、ベビーカー利用者のマナーがあまりにも酷いので、止めて頂きたい。外出を促すなら、外出先での貸出ベビーカーを充実させるとか、抱っこひも・おんぶひもを推奨してほしい。

- ・電車のホームや路上でスマホや携帯をいじりながら移動している
- ・電車に飛び乗る為にベビーカーで突っ込んで来る
- ・満員電車でベビーカーで乗り込む
- ・ストッパーを掛けずに、電車内で自走させる
- ・混雑した店内で、ベビーカーで人を押し退けようとする
- ・路地から飛び出して、車にひかれそうになる
- ・エスカレーターを使う
- ・子供が乗っていないのに、畳まず荷物置きに使う
- ・ベビーカーの車輪で、他人の足を引っ掛けたのに謝らない

等々。日常的に目にすることを挙げたら、キリがありません。子供を連れて外出するなら、手をつないで子供の顔を見てコミュニケーションを取りながら歩く方が、子供の情緒を育てると思います。ベビーカーでは、子供と対面しませんから子供がどんな表情をしているか分かりませんよね。今の親御さんは、子供より自分の都合で外出しているように感じます。こういう制度を作るなら、ベビーカー利用者のマナーを向上させることが先決だと思います。

② 公共の乗り物を利用する場合は抱っこひもで

ベビーカー優先車両をつくることには反対です。そもそも、子育てだからということで、他人に配慮を全くしない母親が多いなか、そのような制度は彼女たちの横柄な精神を助長するだけです。公共の乗り物を利用するなら、抱っこひもで乗れば良い。もし、ベビーカーを使用するなら、畳める装備で出かけるのがマナーです。最近の若いママは周りに配慮する努力をしません。社会が日本の母親をダメにしているのです。

③ 公共交通機関を利用する時はおんぶや抱っこで

ベビーカーの利用ルール統一について、ニュースで拝見しました。バスや電車で利用する人を見ますが、日頃から大変迷惑に感じておりました。ただでさえ遅れがちなバスや電車で、ベビーカーに子どもを乗せたまま、何とか乗降しようとする為、時間がかかって仕方ありません。公共の交通機関を利用する人の状況は様々で、当然、仕事等の為に急いでいる乗客もいます。「子どもがいるんだから当然」といった、我が物顔で乗車する人もいて、よく足元にぶつけられたり、靴を傷付けられたりすることもあります。傷を負った補償・弁償は、誰がしてくれるのでしょうか。「子どもがいる＝優しくされて当然」といった、自分勝手な感覚の親が増えたのではないのでしょうか。交通機関を利用する時くらい、おんぶでも抱っこでも、努力すべきだと思います。もっと、我慢・努力しようしたり、人の迷惑を考えたり出来る人間を育てて行くべきだと思います(特にゆとり世代)。是非、日頃、時間単位で生活している利用者が、大変迷惑に感じているという点を熟慮頂き、適切な結果を出して頂けたらと切に願っております。

④ ベビーカーを畳まずに混雑時の車両に乗ることは反対

テレビにて鉄道利用時のベビーカー利用に関する検討を開始すると知りましたので、子育て経験者、鉄道利用者(主に通勤利用)という2つの視点で意見をお伝えしたいと思います。テレビで触れられていたポイント「ベビーカーをたたむか、そのままか」に関する物理的な課題です。乳幼児を連れた方を周囲が温かく支援するという心理的な面は人として当然のことながら、下記のような物理的問題は別の問題として合理的判断をして頂きたいと考えます。Aさんがベビーカーを畳まずに混雑した電車に乗車し、乗客Bさんの隣にベビーカーを置いた場合、Bさんが他の乗客の揺れに耐えられず、ベビーカーの乳幼児のうえに尻もちなどをつく可能性があります。ベビーカーには大人の膝や太ももの高さフレームがあり、その上はつかまるところのない空間になります。ラッシュ時の乗客は自分の足の置き場もない程の窮屈さに耐えて乗車しており、互いに持ちつ持たれつ揺られているため、高乗車率でも立っていられます。Bさんの足がほぼ固定され、ベビーカーのフレームに膝の高さがあたる状況ですと、上半身が他の乗客の揺れで圧力を受けた場合、Bさんは立ってられないのです。更には言えば物のない場所(乳幼児のうへの空間)へと倒れ込み、結果として乳幼児に覆いかぶさってしまうのです。よって、ベビーカーを畳まずに混雑時の車両に乗ることは反対です。Aさんの子どもさん、Bさん双方にとってリスクが高いのです。しかし混雑時以外であれば(例えば、Bさんがベビーカーからある程度の距離を保ち、つり革等に掴まれている状況)ベビーカーを畳まずに乗車してもよいと思います。子育て中の方には温かい支援をしたいと常々感じていますが、そのような心情面では回避できない問題を記載しました。よろしく申し上げます。

⑤ 今のベビーカーは大きくて邪魔

今話題のベビーカーの公共の場での取り扱いについての意見です。今多くの親は子供さえ連れていけば何でもまかり通ると思っているようにその態度から感じられる。込み合っている所。スーパーの中。特に今のベビーカーは大きく邪魔。30年位前はベビーカーも簡易型の物と大型とがあり使い分けていた。多くの親が今のように大きな顔をして街中に出るのなら臨機応変に対応をすることを守るべ

き。今以上に当たり前の様にされるのは耐えられないこと。今の国交省大臣はしっかり考えてもらいたい。

⑥ 公共交通機関でのベビーカー利用推進はおかしい

大臣が公共交通機関でのベビーカーの利用を推進するような発言はおかしいのではないかと。そもそもベビーカーの構造は電車内の利用を想定していない。現に、大手ベビーカーメーカーのホームページでは電車内の利用をしていないことを明記している。なぜ、正しくない利用方法を国が認めるのか。このごろの若い子連れの主婦は、エレベーターの使用を当然だと思い、お年寄りや車いす利用者に譲ろうともしない。そもそもバリアフリー化は、弱者のためではなかったのか。選挙対策のために、国が間違った政策を打ち出してよいのか。お年寄りや体の不自由な人は蚊帳の外と言うことか。国土交通省は自分も含め体に不自由がある人間は国としてもお金がかかるから、厚労省と結託して抹殺しようとしているのではないのか。2年前の節電対策の時も駅構内や公共施設のエレベーターやエスカレーターを止めた悪しき前例を再現しようとしているのではないのか。

⑦ ベビーカー利用の利便性向上は政府が優先する課題か

ニュースで、ベビーカー利用者の利便性を高める検討が始まったと知りました。これは、政府が今優先する課題かと、疑問に感じます。票集めの人気取りだろうという声の方が、多く聞かれます。もし、少子化対策や子育て支援の一環と捉えているなら、「子連れ外出を後押し」するような政策は、むしろ子供の為ではないと思います。道具の便利さに誘導されて、本来長時間外出させるべきでない乳幼児達が、親の都合で連れ回されている状況は、世界的に見ても日本だけ異常です。その結果、具合を悪くした子供達が、夜間救急に常に現れるようになったのも、こうした無理な外出による負担が大きな原因にもなっています。本当に必要なことは、ベビーカーの外出環境を良くすることよりも、「公共交通機関には、自立して乗れるようにする」「それ以下の年齢の子供は、親が抱える」という社会像を示す方が、日本の子供の為になると思います。海外ではよく「日本は子供天国だから」と揶揄されます。また、特にヨーロッパにいと「公共の場で子供が騒いでいたら、日本人」と思われ、実際にその通りのケースばかりです。それなのに、その上政府をあげてベビーカー利用向上を目指すのは、本当に理解に苦しみます。子育て世代が望んでいるのは、そんなことではないはず。もっと基本の、生活や教育の支援が、優先されるべきではないでしょうか？また、公共交通機関の“乗客への配慮”として、統一ルールが必要ならば、「優先されるべきは、車椅子の方と年輩の方だ」と思います！ネット上でも度々話題になりますが、駅にエレベーターが設置されてから、“ベビーカー行列”ができて、本来利用すべき車椅子の方や年輩の方がずっと待たされ、乗れないという光景が続発しています。私自身も度々そうした場面に遭遇しますが、当然のようにベビーカー親子や、キャリーバッグ親子が先に乗り込んでしまいます（ベビーカー外出がおしゃれ、小さな子にまで旅行用キャリーバッグをゴロゴロ引かせるのがトレンドなのでしょう）。その結果、エレベーター混雑が発生すると、決まって遠慮するのは車椅子の方の方でした、いつも。彼等には基本「人に迷惑をかけたくない」という意識が高いからです。年輩の方が譲られるのも「このくらい大丈夫、少くく待てる」という忍耐力があるからです。では、こうして常に優先されて当たり前の環境で育った子供たち（親たち）は、どんな大人に育つのでしょうか？忍耐力も思いやりが欠如するのも、当然の結果のように思えます。そういう子供、そういう日本人を生む環境を、後押しし続けるのでしょうか？こうした社会環境の責任は、政府、地域、大人にあるはず。企業やマスコミは、自分が得する流行を煽るでしょう。しかし、政府はそれに「待った！」をかけられる立場のはず。未来を予測した見識を発揮できる人材が、

目先の便利さよりも日本国にとって本当に良い方向へ、舵を取るべきだと思います。現代の「人への思いやりがないゆとり世代」とか「モンスターペアレント」といった問題も、元を正せば、政府の失策の結果、社会や地域、大人の“目先が便利に新しくなれば良い”という風潮の産物だと思います。では、本来の公共交通機関のバリアフリーは、誰の為のものでしょうか？どんなに努力しても自分の足では立てない車椅子利用者の方の為ではないのでしょうか？怪我をしてギブスや杖の人、年を重ねて階段の昇り下りが大変な方の為ではないのでしょうか？“自分できちんと立って電車に乗る”そんな当たり前のことが、出来なくなっている子供たちを、これ以上増やさないでほしいと思います（また、子連れなら何でも優遇されるべき！と信じこんでいる親の意識を戻す為にも）。それでも、ベビーカー優遇を進めるならば、“最優先は車椅子利用者、年輩の方、妊婦”という本来の常識を明らかにして、認識を徹底してほしいと思います。ニュースの中では、地方交通機関でのベビーカーホルダー等が注目されていましたが、それも“本来車椅子を固定するスペース”に、ベビーカーホルダーとマークが追加されたものでした。確かに、車内構造からいったら最善策なのかも知れませんが、利用者の立場から見たら、どうでしょうか？今までそこを利用していた車椅子の方達は不便にならないでしょうか？エレベーターと同じ現象が起きて、ベビーカーやキャリーバッグ利用者が、車椅子の方を締め出すことがないように、本当に正しいルール作りをしてほしいと切望します。

Ⅱ ベビーカー専用車両を設けるべきという意見

⑧ 女性専用車にベビーカー優先指定をまとめるべき

各車両にベビーカー優先を行うのではなく、他の車両に比べて圧倒的に空いている女性専用車にベビーカー優先指定をまとめるべき。多くの場合、母親がベビーカーを使用しているのだから、女性専用車両に設ける事については問題が無い筈。

⑨ ベビーカー用の専用車両をラッシュアワー時に設けてもらいたい

ベビーカー用の専用車両を特定時間帯（ラッシュアワー）に設けて、その時間帯はその専用車両だけで使うようにしてください。一般乗客とベビーカー乗客が混在すればいがみ合いが起きるのが当然です。それだけでなく、双方ともに実際の危険度も増します。ベビーカー専用車両は女性専用車両と共通とし、ベビーカーを使っている男性も例外として使用できるとしてください。1編成の中でのベビーカー・女性用車両の位置をどこにするかは男性、女性乗客双方の意見をよく聞いて、国としての条件を指定してください。

Ⅲ ベビーカー利用者に配慮したルールの検討を

⑩ 幼な子のことを考えたルール作りをしてください

「鉄道車内のベビーカー」ルールを検討についてのお願いです。子育ての済んだ 50 代の主婦です。電車内のベビーカーが迷惑であることは確かです。しかし、ベビーカーを必要としている幼子を、混み合う車内で立たせた時の状況をご想像下さい。バッグや大きなリュックが容赦なく顔面や頭を直撃します。母親は、片手に大きな荷物、もう一方の手に折り畳んだベビーカー。子供を守ることは出来ません。中には「ベビーカー(子供)は守られて当たり前」のような不届きな態度の母親も見受けられます。反感を持たれるのも当然です。それでもどうか、最終的には幼な子のことを考えたルール作りをしてくださるようお願い致します。

⑪ 母子に寄り添ったルール作りになることを期待

最近、公共の乗り物でのベビーカーが問題視されています。ルールを作るとかなんとか。そういった報道を見ていると、とても悲しい気持ちと絶望感に襲われます。もっと議論することはほかにたくさんあるのではないのでしょうか。利用者でもっと迷惑をかける方達はたくさんいます。一番守らなければいけない立場の人たちを、何故、よってたかって問題視するのでしょうか。文句を言いやすい弱い立場だからでしょうか。生活は多様化しているのに、人間の心が多様化しないと、常にこういった情けない問題が起こる気がします。都会の子育ては環境においても大変です。スーツケースや車イスと何が違うのでしょうか。皆むかしは赤ちゃんだったはず。母子に寄り添った、ルール作りになることを期待しています。ルールから外れた場合また標的になるのはお母さんです。可能性は狭まり、未来は暗く悲しいものになるでしょう。大人が、赤ちゃんに文句を言って情けないです。横暴な乗り方をしている親も一部だと思います。そういった方達が気持ちを改めないせいで悪い印象を与えてしまうのも事実です。このままだと女性は住みづらい東京になってしまいます。生身の赤ちゃんと、その荷物を持って実際に試してみたらからのルール作りをお願いします！混雑している駅でベビーカーをたたむのは至難の技です。どうかどうか、赤ちゃんやお母さんを守ってあげて下さい。産後うつ、児童虐待。外に出づらくなればもっとひどくなります！お母さんの心の負担だけにはならないように。お願いします。少なくとも私は住みづらい日本には魅力を感じられなくなります。

⑫ ベビーカーの子連れに非はない

今朝、国交省によるベビーカー規制についての記事を読みました。驚きのあまり今回初めてメールすることにしました。少子化問題に悩む国が、子育てしにくい環境を作ろうとしているとはなんと矛盾したことかお分かりにならないのでしょうか？子連れがすでにどれだけ肩身の狭い思いをしているかご存知ないのですか？私は、日本国民であることを誇りに思っていますし、日本が好きです。しかし、乳児、幼児に対する寛容のなさには度々悲しくなります。もちろん、しつけをしない親や、「子どもだからしょうがない」という態度で、周りに迷惑をかけることをなんとも思わない人もいて、そういう人に出くわしてしまうと、「子連れは面倒。うっとうしい。」と思う人もいるでしょう。私自身子どもがいますが、そういう人とは関わりたくないです。しかし、そういう人ばかりではありません。何らかの事情で赤ちゃんや幼児を連れて、嫌でも混み合った公共機関を使わなければならない場合、荷物もあるのにベビーカーを折り畳むなんて大変ですよ。赤ちゃんが1人だとしても、赤ちゃんを抱いて、ベビーカーも支えながら荷物を持つなんてとても大変です。ベビーカー規制に携わっている方々は、このような経験がないのですか？いきなり大人として生まれてきたのですか？みんな赤ちゃんの時があって、周りの協力の元大人になったのです。どうして社会で子どもを育てよう！とならず、子連れを規制するのですか？ルールが定められたら、今までは何も言わず我慢していた人たちが、権利を主張して遠慮なく「ベビーカーを畳め！邪魔だ！」と言ってくるでしょうね。子育て中は精神的に

も大変なのに、他人からそんな事を言われたら、引きこもるようになる人も出てくるでしょう。年間何人もの母親が育児ノイローゼで子どもを道連れに亡くなっているのに、更に苦しめるようなことをするのは、時代錯誤も甚だしいです。これ以上子連れの立場を弱くして、少子化を推進したら日本国は終わりです。誰が日本を背負って行くのですか？海外に視察に行かれてはどうですか？私は今欧州に住んでおりますが、市バスにはベビーカーがそのまま入れられるスペースはあり（こちらのベビーカーはかなり大きいですが）、電車でももちろん誰も迷惑に思いません。ベビーカーの子連れが堂々と公共機関を利用しています。アメリカでは、子連れだとドアを開けるのを手伝ってくれたり、何かと優先してくれます。何年後かには日本に戻りますが、少子化が加速して、老人ばかりの国になるんなら、永住はしないかもしれません。私と同じように思う人もたくさんいるでしょうから、どんどん日本国民が減っていきますね。たぶん、海外に逃げられる人はそこそこお金を持っているでしょうから、お金のない人ばかりが日本に残るのです。もっと先を見て、根本的な解決方法を考えられた方がいいと思います。今の日本人に欠けているのは、道徳です。人を思いやる心です。ベビーカーの子連れに非はありません。

⑬ 乗車時にベビーカーを畳むことは無理

太田昭宏国土交通相は5月21日の閣議後の記者会見で、電車などの公共交通機関におけるベビーカーの利用について、統ルールをまとめる方針を明らかにした。関係省庁と近く協議会を立ち上げ、「社会全体で子育てを応援する方向に持っていきたい」と語った。バリアフリー法のガイドラインにベビーカーについての規定を盛り込むほか、車内のベビーカー利用への配慮を周囲に求める統一マークを作成。混雑時の車内ではベビーカーを折り畳むなど、利用者に向けたルール作りも検討する。最後のベビーカーを折りたたむというのは乳児、幼児を連れた親にとっては応援ではなく嫌がらせ以外の何物でもないと思います。特に雨の日など絶対に無理です。皆さん、抱える余裕がないからベビーカーを利用しているはず。当事者の気持ちがわからないルールなど必要ないです。何のために、何を最優先するのかということをよく考えて議論してください。ベビーカー優先のエレベーターに平気で乗ろうとするおばさんや、行政や政治からこういうことを聞くと日本はまだまだ後進国だと思います。逆に時々見かける動物のためのベビーカーなどは制約を設けるべきだと思います。気をつかって席を譲った後、ベビーカーの中身は犬だったということが何度かありました。

⑭ 多数派の一般通勤者優遇はおかしい

日本人は公共＝マジョリティがマイノリティを押しつけて得をする場所と言う固定概念があります。しかし、欧米では、公共＝マジョリティもマイノリティも使用すべき場所となっています。日本独特のベビーカー排除ルールを設けたところで、最近増えている外国人ママが納得するのでしょうか？また、日本人ママのモラルは諸外国より高く感じます。日本では、親子連れは遠慮して旅行ひとつ行かないのが常識です。ラッシュアワーに子連れを好き好んで通勤者様の嫌がらせのために行う母親なんてほばいないでしょう、こっちはできれば乗せたくありません。たいていは病院の診療のためなどだと思います。それなのに、親子連れ叩きは世界一です。公平に国際的観点から見ておかしいのは通勤者様だと思います。もっと、親子連れに寛容な精神を啓発すべきだと思います。また、ベビーカーと車椅子は違うという言い訳を通勤者様はしますが、私が車椅子の義母を介助していたときも、通勤者様から心無い罵声を浴びたり、いつまでたってもエスカレーターに乗せてもらえない嫌がらせをされました。日本の効率、多数決社会をどうか正してください。

IV ルール検討についてのその他の意見

⑮ 利用時間や歩ける子供を乗せることについて検討を

公共交通機関でのベビーカー利用の検討についてですが、子育て支援とはき違えていると思います。電車の中でのベビーカーの方々達の影響がどんなものかわかっていないと思います。ベビーカーを広げていいのであれば、時間を決めてほしいです。歩ける幼児を乗せて堂々としているなど。混んでいるのに無理矢理乗ってくるなど、危険です。

⑯ ベビーカーはエスカレーター使用禁止に

ベビーカー利用時の統一ルールを今後作るとのことですが、それとあわせて是非とも、駅でのベビーカーによるエスカレーター使用に関してもルール作りをお願いいたします。子供を乗せたままのエスカレーター使用は大変危険です。前後にいる人間はいつ落ちてこられるか、恐ろしくてたまりません。ベビーカーはエレベーター使用が大原則だと思います。当たり前のように子供を乗せたままエスカレーターを利用する親が大変目立ちます。地下深く続く長いエスカレーターにもかかわらず、「ベビーカー使用は注意して乗るように」と黙認するような注意書きが書かれている駅には大変おどろきます。ベビーカーはエスカレーター使用禁止に。